

令和元年度（第1回）山陽小野田市地方創生協議会会議 会議録	
開催日時	令和元年8月23日（金）9時30分～11時40分
開催場所	山陽小野田市役所 本館3階 第2委員会室
出席委員	山陽小野田市地方創生協議会委員 8人 （江田座長、原副座長、半矢委員、岡本委員、磯村委員、 玉木委員、小原委員、竹本委員）
出席職員	（事務局） 企画部長、企画部次長、企画政策課長、企画政策課主幹、企画政策課政策調整係長、企画政策課主任主事
協議概要	<p>1 開会</p> <p>2 新任委員の紹介及び委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山陽小野田市地方創生協議会委員名簿（資料1） ・ 山陽小野田市地方創生協議会設置要綱（資料2） <p>3 市長挨拶（部長代読）</p> <p>4 事務局紹介</p> <p>5 議題</p> <p>(1) 山陽小野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成30年度の検証についての説明と意見交換（資料3から資料5まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山陽小野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る施策及び重要業績評価指標（KPI）の検証結果一覧表（資料3） ・ 重要業績評価指標（KPI）（平成30年度）の達成度の状況について（資料4） ・ 目標指標の進捗状況について（資料5） <p>【事務局が資料について説明】</p> <p>山陽小野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る施策及び重要業績評価指標（KPI）の検証結果一覧表について（資料3）</p> <p><u>○資料3の主な質疑応答</u></p>

【竹本委員】

2 ページの 4 (3) 「地域連携による経済・生活圏の形成」について、広域連携事業数の平成 30 年度の実績値が 20 事業となっているが具体的な内容はどのようなものがあるか。

【事務局】

消防の宇部山陽小野田消防組合や、七市町の県央連携都市圏域での取組がある。他には、県内市町で非常勤職員の災害補償事務を取扱うものがある。

【玉木委員】

1 ページの 1 (1) の 1 「新規企業の立地件数」の数値は、いつ時点の数値か。

【商工労働課】

進出の調印式をした件数ではなく、補助申請の提出があった年度で数値を上げている。

【小原委員】

1 ページの 1 (1) の 1 「新規企業の立地件数」の達成度の項目が、B 評価から C 評価と見直しをしているがその理由をどのように分析しているか。

【商工労働課】

今まで売れていなかった土地が売れてきていたため昨年は B 評価としたが、現時点では、やや目標達成が困難なため、今年度は C 評価とした。

【小原委員】

企業の投資意欲の減少によるものか。

【商工労働課】

企業の投資意欲の減少は感じていない。現在もお話を数社いただいている。

【半矢委員】

2 ページの 3 (1) の 4 2 「通学路における子どもの交通事故件数」に計上している数値のけがの程度にどのようなものがあるか。また、現在も一生懸命取組みをしており、今後も対策をどのように考えているか。

【学校教育課】

13 件の内、中学生が 11 件で自転車での事故となっている。擦り傷をした子どもから骨折をした子どもまでいる。見守り隊の方も活動していただいているが、見守り隊の目の行き届かないと

ころなどで事故がある。

【半矢委員】

この数値は登下校時のみか、それ以外の時間、放課後に遊ぶときも含むのか。

【学校教育課】

通学路における子どもの交通事故件数を上げているため登下校時の交通事故件数である。

【江田座長】

3 (1) の 4 1 「子ども医療費助成制度の対象者数」は、6歳以下の子ども全体の人数か。

【事務局】

医療費助成制度の対象は中学3年生までとなっている。所得要件を加えた市の制度対象者の人数が上がっている。今後担当課としては、制度の対象者数を拡充していきたいと考えているためC評価としている。

【岡本委員】

2 ページの 3 (2) の 4 6 「コミュニティ・スクールの設置率」は、現在は100%という状態だが、今後定年延長で70歳定年になった場合維持していけるかを検討する必要がある。

【事務局】

担当課に伝える。

【江田座長】

1 (2) の 6 「融資制度活用による技術開発・新商品開発件数」の目標が1年で2件となっているのに対して、実績はずっと0となっているがどのような制度なのか。

【商工労働課】

新商品の開発に特化した融資制度であるが、話を伺っていくと企業による新商品の開発は、補助制度や支援制度を希望しているため、別にある既存の制度を使い新商品開発を行っているため0となっている。

【小原委員】

融資制度は別に予算を設けているのか。

【商工労働課】

他の事業と一緒に予算計上している。

【半矢委員】

1 (2) の 7 「市内学校給食で使用する地元（県内産）食材の使用

率」に努力できる余地はあるのか。

【学校給食センター】

仕入れ業者に県内・市内産を使うように依頼している。学校給食センターとしては、できるだけ努力した結果の数値となっている。

【半矢委員】

献立時にも県内・市内産を考え、安心安全の給食としていただきたい。

重要業績評価指標（KPI）（平成30年度）の達成度の状況について（資料4）

○資料4の主な質疑応答

【竹本委員】

重要業績評価指標63事業のうちC、D評価が半数となっている。目標値の設定の考え方はどうなっている。

【事務局】

重要業績評価指標については、いろいろな指摘を昨年度も頂いている。目標値が高すぎたもの、施策にそぐわない重要業績評価指標がある。今後の指標はより正確に判断できる指標及び目標値を設定していく。

【岡本委員】

空き家が増えてきている。今後4(2)「誰もが安心して暮らせる地域づくり」の指標に追加して欲しい。

【事務局】

次の総合戦略に向けて担当課と協議し検討する。

目標指標の進捗状況について（資料5）

○資料5の主な質疑応答

【玉木委員】

人口動態の転出は、市外と県外ではどちらが多いのか。

【事務局】

市外に出た人数としか把握はしていないが、近隣市町へ転出している方が多いと思う。

【玉木委員】

小野田に住んでいる方が、宇部市に家を建てるのが非常に多い。その要因はどのように考えているか。

【事務局】

数値としては把握していない。宇部市に転居する人がいるということは把握している。転入された方には、転入奨励金制度があるが、今おられる人を外に出さないための施策が必要と考えている。今後の参考にさせてもらう。

【玉木委員】

小野田は空き家が多いので、リノベーション住宅や、空き地に家を建てられるとかをできるようにすれば、住む人が増えるのではないか。

【原副座長】

医療面で宇部の方が優れているという噂を耳にする。安心のイメージを作っていく必要がある。

また、有効求人倍率がよくなっているが、高校生の地元就職へのイメージを作っていくことで、他市からの高卒の人を就職させることも考える必要がある。

社会動態が年約100人減っている。毎年100人ずつ減っていくのであれば、人口ビジョンの表と差がかなり大きくなる。そのため、何年後かにガクッと減るのではないか。

【事務局】

指標は、20歳から39歳の社会動態数である。人口ビジョンと違い、その他の世代の人口減少と自然減が考慮されていない。

【原副座長】

この人口動態が0にならないといい状態ではないのか。

【事務局】

市の想定より減少が早くなるため、いい状態ではない。

【玉木委員】

人口の長期見通しにおいて、人口の減り方が平成37年まで、緩やかなのに対してその後減少が増えるのは、現在の総合戦略の効果を勘案してか。

【事務局】

人口ビジョンは、年齢と男女別の人数の塊を出し、その平均寿命を出して作った表となっている。そのため、総合戦略の効果を勘案しているわけではない。

【江田座長】

人口ビジョンに理科大の生徒数は勘案しているのか。

【事務局】

勘案している。

【磯村委員】

人口の社会動態について、外国人の内訳をもっているか。

【事務局】

把握していない。

【磯村委員】

県内でも在留外国人が増えているので、市の方でも分析をされてはどうか。

【事務局】

内数を確認してみる。

○意見交換（KPIについて）

【磯村委員】

2ページの4（1）の56「小野田駅の利用者数」と57「厚狭駅の利用者数」について両方平成26年の現状値より悪化しているのに、小野田駅はC評価で、厚狭駅は中間値（平成29）より実績値（平成30）が増えているとしてもB評価となっているのはどうなのか。一緒のC評価でいいのではないか。

【事務局】

確かに御指摘のとおりと考え、厚狭駅の利用者数をC評価に変更する。

5 議題

(2) 山陽小野田市の人口の動向について

・ 第二次山陽小野田市総合計画との比較（資料6）

【事務局が資料について説明】

○資料6の主な質疑応答

・ 意見なし

5 議題

(3) 令和2年度以降の人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生

総合戦略の取扱いについて（資料7）

【事務局が資料について説明】

○資料7の主な質疑応答

【原副座長】

市としては、外国人を受け入れるかどうかの方針によって人口ビジョンが変わっていくと思うので検討して欲しい。

【事務局】

市として外国人を転入させる施策は考えていない。外国人材は、国の施策にも大きく関わっていくが、現在国の人口ビジョンについては、外国人の流入は流動的なため、考慮しないで作っている。山口県も同様になると思うが今後確認する。

【小原委員】

市が移住フェアに行くときの山陽小野田市の押す部分はどこになるか。

【事務局】

転入奨励金と、瀬戸内の温暖な気候もあり、新幹線の停まる厚狭駅や山口宇部空港などの交通のアクセスの良さ、公園、子育て支援センターといった点を押している。

【小原委員】

東日本の方が、山陽小野田市に来て家を建てられた。何故山陽小野田市か確認すると、地震のないところがいいということで選んだとのこと。住んでいる自分では思いもよらない理由であった。色んなプレゼンする方法があると思う。

【磯村委員】

総合戦略は延長ということだが、取組の追加などは行わないのか。

【事務局】

基本施策までは変えないが、御指摘のあった点を参考に、施策レベルでの追加、変更、削除は考えている。

5 議題

(4) 今年度の進め方及びスケジュールについて（資料8・9）

【事務局が資料について説明】

○資料8・9の主な質疑応答

・意見なし。

	<p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>
--	--------------------------